

手形トシテ成立スルニ妨ケアルコトナシ之ヲ以テ手形法ハ茲ニ之ヲ約束ト云フモ契約ノ意味ニ非ス振出人カ自身ニ於テ支拂ヲ爲スモノナリト云ヘル意義ノ文言ヲ記載スレハ可ナルモノニシテ必スシモ支拂ヲ爲スコトヲ相互ニ於テ契約シタルモノナリト云ヘル意義ノ記載ヲ要スルモノニ非ス却テ疑ヲ惹起スルニ至ルモノナリ

斯ノ如ク約束手形ハ一ノ契約ヲ證明スルモノニ非スシテ手形上ノ權利ノ成立及ヒ其存在ヲ證明シ一面ニ於テ手形上ノ權利カ此證券ヲ待チテ成立シ且ツ存在スル處ノモノニシテ其證券ノ作成者ハ其單獨ノ意思ヲ以テ之ヲ作成スルモノナレハ其前後ニ於ケル當事者間ノ意思ハ或ハ双互的ノモノアルモ是等ハ手形ニ關スル行爲ニ非スシテ其準備行爲又ハ交付若クハ裏書ノ準備行爲タルモノトスルコトハ余輩ノ既ニ詳細説述シタル處ナリ人若シ支拂ノ約束ナル文言ヲ約束手形ニ記載スルハ其準備行爲ヲ手形ニ記載スルモノニシテ契約ニ非スト云フコトヲ得スト論スルコトアラソカ

誤ノ甚シキモノト云ハサルヘカラス假リニ此論ヲ正確ナリトスルトキハ約束手形ノ振出人ハ約束手形ヲ振出ス前ニ當リテ既ニ手形義務ノ成立シテ約束手形ハ唯其成立及ヒ存在ヲ證明スル處ノ具ニ過キスト云ハサルヘカラサルニ至ルナリ果シテ然ラハ手形ハ權利的證券ナリト云フコトヲ得サルヘシ豈ニ夫レ然ランヤ荒誕謬説モ亦甚シト云ハサルヲ得ス

以上説述スルカ如ク約束手形ハ支拂ノ約束ヲ證明スル處ノモノニ非ス又之ニ依リテ支拂ヲ契約スルモノニ非ス唯手形金額ノ支拂ヲ爲スヘキコトノ意思ヲ表示スルモノニ過キス其支拂ノ意思ヲ表示スルハ振出人カ自身ニ於テ約束手形ヲ振出シタル爲メ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ負擔スルモノナルコトヲ半面ニ於テ表示スルモノナリトス從ヒテ手形法ハ支拂ノ約束ナル文字ヲ規定スルモ其文字其モノハ直接ニハ何等ノ意義ヲ有セルモノニ非ス其約束ナル文字ハ或ハ手形法ノ拘束ヲ受クヘキ旨ノ記載ヲ爲スヘキモノナリト云フモ強テ附會ノ解釋ニ非サルナリ要スルニ文句ヲ以テ美妙



貨物、用、二、供、環、  
ノ、用、ニ、供、環、  
キ、云、々、ノ、ヘ、  
文、字、何、ノ、  
必、多、ア、ル、  
カ、日、ハ、  
此、定、額、ハ、  
果、シ、テ、當、  
ナ、リ、ト、ス、  
ナ、リ、ト、ス、

粹麗ノ趣味アル手形法理ヲ没却スヘカラス  
爲替手形ノ振出人ハ其振出行爲ニ付テハ未タ債務ヲ負擔スルモノハ非ス  
唯他日其行爲ニ基キテ受取リタル對價ノ返還ヲ爲スヘキ債務ノ發生スル  
コトアルカ或ハ其債務ノ確保ヲ爲ス爲メニ擔保ヲ供スヘキ債務ノ發生ス  
ルコトアルニ至ルモノナリ然ルニ約束手形ハ之ニ反シテ其振出人ハ其振  
出行爲ニ因リテ直ニ債務ヲ負擔スルニ至ルモノナリ是レ約束手形ノ爲替  
手形ニ於ケル差異ノ首要ナル點ナリトス之ヲ以テ約束手形ヲ左ノ如ク定  
義スルコトヲ得約束手形トハ支拂ヲ爲スヘキ債務ヲ負擔シテ貨物、環、  
用、ニ、供、セ、ラ、ル、ヘ、キ、權、利、的、證、券、ナ、リ  
抑モ爲替手形ニハ其振出ヲ爲スニ當リテ三名ノ手形人員ノ存在スルコト  
ヲ要スト雖モ約束手形ニ在リテハ二名ノ手形人員ヲ以テ其振出ヲ構成ス  
ルモノトス蓋シ爲替手形ニハ振出人及ヒ受取人ノ外ニ支拂人ナル者ノ存  
在スルモノナレトモ約束手形ニ在リテハ振出人及ヒ受取人ノ外ニ支拂人

岸本評論  
ノ、用、ニ、供、環、  
キ、云、々、ノ、ヘ、  
文、字、何、ノ、  
必、多、ア、ル、  
カ、日、ハ、  
此、定、額、ハ、  
果、シ、テ、當、  
ナ、リ、ト、ス、  
ナ、リ、ト、ス、

ナル者ノ存在スルコトナケレハナリ凡ソ手形ニ振出人ノ外支拂人ノ存在  
スルト否トハ實ニ手形債務ノ發否ニ關スルモノニシテ支拂人ノ存在スル  
手形ニ在リテハ手形金額ハ支拂人ニ於テ支拂フコトヲ以テ手形ノ成立ニ  
關セシムルモノナルカ故ニ振出ノ當時ニ於テハ支拂人ハ未タ債務關係ノ  
繩絆内ニ在ル者ニ非サルハ勿論何人モ手形金額ノ支拂ニ付テ債務ヲ負擔  
スルコトナシ之ニ反シテ支拂人ナル者ノ存在セサル手形ニ在リテハ其手  
形金額ハ振出人ニ於テ支拂フヘキコトヲ以テ手形成立ノ要件ト爲スモノ  
ナルニ因リ此者カ支拂ノ債務ヲ負擔スルモノニシテ振出ノ當時ニ於テ既  
ニ手形金額ノ支拂債務者ノ存在スルモノト云ハサルヘカラス前者ハ即チ  
爲替手形ニシテ後者ハ即チ約束手形ナリトス  
斯ノ如ク約束手形ハ振出人ニ於テ手形金額ヲ支拂フモノナルヲ以テ爲替  
手形及ヒ小切手ハ支拂ノ爲メニ振出スモノナリト雖モ約束手形ハ支拂ヲ  
約スル爲メニ振出スモノナリト云フ者アリ然レトモ是等ハ外觀チ一見シ



テ形容スルノ語ニ過キス畢竟スル處支拂人ノ振出人ナルト第三者ナルトニ依リテ手形債務カ振出ノ當時ニ於テ成立スルト否トノ差異ヲ生ジ此差異カ即チ手形ノ種類ヲ區別スル處ノ標準ト爲ルモノナリ約束手形ナル名稱ハ深ク研究ヲ爲スニ及ハス約束ナル行爲ハ手形行爲ニ非サルナリ

### 第二章 手形行爲

#### 第一節 振出

約束手形ハ振出ニ依リテ成立スルモノナリ余輩ハ疊キニ爲替手形ノ振出ヲ説明スルニ當リテ振出ハ交付ヲ以テ成立スルモノニ非ス手形事項即チ要件ヲ具備シテ之ニ署名又ハ記名捺印ヲ爲スニ因リテ成立スルモノナルコトヲ説述シタリ約束手形ノ振出ニ付テモ決シテ交付ヲ以テ必要ノ行爲ト爲スモノニ非ス要スルニ振出ハ手形ノ成立ヲ意味スルモノニシテ成立及ヒ交付ヲ意味スルモノニ非サルナリ蓋シ手形ノ成立ハ手形行爲ナリト雖モ手形ノ交付ハ手形行爲ニ非サレハナリ余輩ハ左ニ手形要件ヲ分説セ

ントス

#### 第一款 要素

茲ニ要素トシテ説明スル處ノモノハ爲替手形ノ振出ニ付テ説明シタルカ如ク之ヲ缺クニ於テハ手形ノ手形トシテ成立スルコトヲ得サルモノヲ云フ

##### (一) 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字

爲替手形ノ説明ヲ爲スニ當リテ一言シタルカ如ク約束手形タルコトヲ示スヘキ文字ヲ證書ノ文面ニ記載スヘキ法律上ノ必要ハ手形ノ如何ナル種類ニ屬スルモノナルカヲ表識スルニ在リ若シ之ヲ舉示セサルトキハ他ノ要件ニ依リテ其約束手形タルコトヲ知り得ルニ至ルト雖モ或ハ爲替手形ノ要件ヲ欠缺スル處ノ文書ナルカモ度リ知り得サルヲ以テ必ス之ヲ記載セサルヘカラス之ニ因リテ此要件ヲ缺クトキハ約束手形トシテ成立セサルハ勿論凡テ手形タル效力ナキモノト爲ス



- (二) 一定ノ金額
- (三) 受取人ノ氏名又ハ商號
- (四) 振出ノ年月日
- (五) 振出人ノ署名行爲

以上四項ノ要件ハ爲替手形ノ振出ヲ説明スルニ當リテ一言シタル處ト異ナル處ナキヲ以テ茲ニ之ヲ贅セス

(六) 單純ナル支拂ノ約束

爲替手形ノ振出ニ付テハ單純ナル支拂ノ委託ヲ手形ニ記載スヘキモノナレトモ其委託トハ契約ヲ指スニモ非ス又契約ノ申込ニモ非サルコトハ既ニ屢々之ヲ説明シタリ約束手形ノ振出ニ於テモ單純ナル支拂ノ約束ヲ手形ニ記載セサルヘカラス然レトモ約束ナル契約ヲ記載スルモノニ非ス余輩ハ前章ニ於テ性質ヲ説述スルニ付キ一言シタルカ如ク支拂ニ付キ契約ヲ締結シ之ヲ手形ニ記載スルモノトセハ手形權利ハ手形ノ成立ニ因リテ

成立シ又手形ニ依リテ存在シ消滅スルト云フ手形ノ理論ニ乖戾スルモノト云ハサルヘカラス之ヲ以テ茲ニ約束ト云ヘルハ振出人カ支拂ヲ爲スモノナリトノ意思ヲ記載スレハ足レルモノトス

(七) 振出地

爲替手形ニ在リテハ手形ノ振出地ノ記載ヲ以テ手形要件ト爲サス蓋シ振出人ハ振出行爲ニ原因シテ手形義務ヲ負擔スルモノナリト雖モ其義務ノ履行ハ振出地ニ關係スルモノニ非サルヲ以テ之ヲ手形ニ記載スルノ要アラサレハナリ然レトモ約束手形ニ在リテハ振出人ハ支拂債務ヲ負擔スルモノナルヲ以テ振出以後ニ於テ仍振出地カ手形法上ノ關係ヲ爲スヘキモノナレハ之ヲ手形ニ記載スルハ重要ノ理由ヲ爲スモノトス之ヲ以テ振出地ハ之ヲ要件トシテ手形ニ記載セサルヘカラサルモノナリ

第一款 通素

約束手形ノ通素トハ爲替手形ノ振出ニ付キテ説述シタルカ如ク通常之ヲ



具備スヘキモノナレトモ偶々之ヲ具備セサルコトアルトキハ手形法ノ規定ヲ以テ之ヲ補充シ手形ヲシテ仍有效ニ成立セシムル處ノモノヲ云フ

(一) 一定ノ満期日

爲替手形ニ付テノ規定ヲ準用スヘキモノニシテ爲替手形ノ振出ニ付キ既ニ説述シタルヲ以テ茲ニ再ヒ之ヲ喋々セス

(二) 支拂地

約束手形ニハ振出地ノ記載ヲ爲スヘキハ言ヲ待タスト雖モ支拂地ノ記載ヲモ爲スヘキヲ以テ通常トス然レトモ偶々之ヲ缺クコトアルモ之ヲ以テ直ニ手形ヲ無効トスルハ酷ナリトス此場合ニ於テ爲替手形ニ在リテハ爲替手形ニ記載シタル支拂人ノ住所ヲ以テ支拂地ト爲セトモ約束手形ニ在リテハ約束手形ニ記載シタル振出人ノ住所ヲ以テ支拂地ト爲サス其振出地ヲ以テ支拂地ト爲スモノナリ此差異ノ生スル所以ハ一ニ支拂ヲ爲ス者カ振出人ナルト否トニ因ルモノトス

第三款 偶素

約束手形ノ偶素トハ爲替手形ノ振出ニ付テ説明シタルカ如ク手形ニ之ヲ具備セサルモ固ヨリ其有效ナルコトヲ妨ケス然レトモ偶々之ヲ手形ニ記載スルトキハ手形ノ要件トシテ效力ヲ生スルニ至ル處ノモノヲ云フナリ

(一) 支拂擔當者

支拂地カ振出人ノ住所地ト異ナルトキハ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ約束手形ニ之ヲ記載スルコトヲ得ルモノトス之ヲ記載スルトキハ約束手形ノ要件トシテ其效力ヲ生スルニ至ルモノナリ其理由ハ爲替手形ノ振出ニ付テ既ニ説述シタリ

(二) 支拂場所

振出人ハ約束手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得ルモノトス之ヲ記載シタルトキハ約束手形ノ要件トシテ其效力ヲ生スルニ至ルモノナリ其理由ハ爲替手形ノ振出ニ付テ既ニ説述シタリ



其他約束手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス(四四六)無記名式ヲ以テ約束手形ヲ振出スニハ其金額三十圓以上ノモノナラサルヘカラス(四四九)満期日ハ確定セル日、日附後確定セル期間ヲ經過シタル日、一覽ノ日又ハ一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日ノ一ヲ以テ之ヲ定メサルヘカラス(四五〇)約束手形ニ満期日ノ記載ナキトキハ其手形ハ一覽拂ノモノトス(四五二)

第二節 一覽後定期拂ノ約束手形ノ特別規定

第一款 呈示

約束手形ノ種類中一覽後定期拂ノ約束手形ノ所持人ハ其手形ノ日附ヨリ起算シテ一年內ニ振出人ニ約束手形ヲ呈示スルコトヲ要ス其呈示期間ニ付テハ必スシモ一年內ト限ルニ非ス振出人ハ隨意ニテ之ヲ八个月又ハ十个月ト云フカ如ク短縮スルコトヲ得ルモノトス然レトモ其呈示期間ヲ伸

即期日、  
壹月、  
内ノ期年、  
ラタルニ  
スルコト  
ア

於本年、  
滿期日、  
示モケル、  
定期日、  
メニムル、  
呈示スル、  
カト云

長スルコトハ法ノ希望スル目的ニ違反シ從ヒテ公益ニ害アルモノトシテ之ヲ許サス

斯ノ如ク法定ノ呈示期間又ハ短縮シタル呈示期間內ニ所持人カ一覽後定期拂ノ約束手形ヲ呈示シタル場合ニ於テハ振出人ハ其約束手形ニ其呈示ヲ受ケタル旨及ヒ其日附ヲ記載スヘキモノトス

本章ハ爲替手形ノ引受ニ付テ規定セル處ニ畧相似タリト雖モ彼ハ引受ヲ求ムル爲メニ呈示ヲ爲シ此ハ満期日ヲ定ル爲メニ呈示ヲ爲スモノニシテ其呈示ノ目的ニ於テ二者既ニ異ナレリ然レトモ效果ハ二者殆ント同一ノモノニシテ適法ノ呈示ヲ爲シタルトキハ前者ニ對スル處ノ權利ハ均シク保全セラレ、モノトス

第二款 失權

所持人カ一定ノ期間內ニ於テ一覽後定期拂ノ約束手形ヲ呈示シタル場合ニハ振出人カ呈示ヲ受ケタル旨及ヒ其日附ヲ約束手形ニ記載スヘキモノ



ナレトモ若シ之ヲ記載セス又ハ其一ヲモ記載セサルトキハ所持人ハ果シテ其呈示期間内ニ呈示ヲ爲シタルヤ否ヤヲ證明スルコトヲ得サルヘシ之ヲ以テ所持人ハ呈示期間内ニ拒絶證書ヲ作ラシメサルヘカラス

斯ノ如ク振出人カ呈示ヲ受ケタル旨及ヒ其日附又ハ其一ヲモ約束手形ニ記載セス之カ爲メニ所持人カ呈示期間内ニ拒絶證書ヲ作成シテ其記載拒絶ナル事實ノ證據ヲ保全スルトキハ其拒絶證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ事實其日ニ呈示ヲ爲シタルニ非サルモ其日ヨリ支拂期日ヲ起算スヘキモノトス若シ振出人カ呈示ノ日附ノミヲ記載セサル爲メニ所持人カ拒絶證書ヲ作成セシメサルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ喪失セシムヘキカ手形法第五百二十八條第二項ニ於テ第一項ノ規定ヲ受ケ廣ク無制限ニ拒絶證書ヲ作ラシメサリシトキハ云々手形上ノ權利ヲ失フト規定セルニ因リ振出人カ呈示ノ日附ノミノ記載ヲ爲サ、ルトキト雖モ拒絶證書ヲ作成セシメサルヘカラス否ラサレハ手形上ノ權利ヲ失フヘキカ如

シ然レトモ其第三項ニ於テハ此場合ニ在リテハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做スト規定セリ呈示ノ日ト看做ス規定ヲ以テ振出人ニノミ對スル規定ナリトスルトキハ愚モ亦極マレリト云フヘシ之ヲ以テ呈示ノ日附ヲ記載セサリシ場合ニ於テ所持人カ拒絶證書ヲ作ラシメサリシトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フコトナク呈示期限ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ手形上ノ權利ヲ保存スルモノトス適法ニ拒絶證書ヲ作成スルトキハ呈示期間内ニ所持人カ將來手形ノ呈示ヲ爲シタルコトノ證明ヲ爲シ得ルモノナレトモ若シ拒絶證書ヲ作成シテ其呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セザルトキハ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フモノトス此點ニ付テハ余輩ハ爲替手形ノ引受ニ付テ既ニ評論ヲ試ミタル處ナリ又爲替手形ニ付テハ振出人ニ對シテモ手形上ノ權利ヲ失フモノト爲セリ然レトモ約束手形ニ付テハ振出人ハ支拂ヲ爲ス者ニシテ爾カモ呈示ノ手續ハ償還ノ義務履行請求ノ豫備行爲ナルヲ以テ呈示ノ手續ヲ怠リタル爲メニ振出人タ



ル支拂ヲ爲ス者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失却セシムルハ理由ナキコト、云ハサルヘカラサルニ因リ手形法ハ振出人ニ對スル手形上ノ權利ハ之カ爲メニ喪失セサルモノトセリ  
所持人カ拒絕證書ニ依リ呈示ノ説明ヲ爲サ、ルトキハ右ノ如ク前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ喪失スルモノトスレトモ拒絕證書ヲ作成セシメザリシトキハ此一事ニ因リテ前者ニ對スル處ノ手形上ノ權利ヲ喪失スルモノトス此場合ニ於テモ前後同一ノ理由ニ因リテ振出人ニ對スル手形上ノ權利ハ之ヲ喪失セサルモノトス

第三節 裏書

約束手形ハ記名式ナルトキト雖モ之ヲ裏書スルコトヲ得然レトモ振出人カ之ヲ禁シタルトキハ手形上ノ效力ヲ生シ其手形ハ流通力ヲ生セサルニ至ルナリ(四五五)裏書ニ因リテ約束手形ヲ取得シタル者ハ其何人タルテ間ハス更ニ之ヲ裏書スルコトヲ得(四五六)約束手形ノ裏書ハ約束手形其謄本

又ハ補箋ニ被裏書人ノ署名スルコトヲ要ス但シ裏書人ノ署名ノミヲ以テモ亦之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後約束手形ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ流通スルコトヲ得ルモノトス(四五七)裏書人カ裏書ヲ爲スニ當リテ手形上ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載スルトキハ手形上ノ效力ヲ生シ其裏書人バ其手形ニ付テ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ(四五九)裏書人カ裏書ヲ爲スニ當リ裏書禁止ノ記載ヲ爲シタルトキハ其記載ハ手形上ノ效力ヲ生シ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ裏書ニ付テノ責任ヲ負擔スルコトナキモノトス(四六〇)裏書人カ署名ノミヲ以テ即チ零式裏書ノ方式ニ依リテ裏書ヲ爲シタルトキハ所持人ハ自己ヲ以テ被裏書人トシテ更ニ其手形ヲ他ニ裏書スルコトヲ得(四六一)支拂拒絕證書作成期間經過後ノ裏書ハ被裏書人ヲシテ裏書人ノ存シタル權利ノミヲ取得セシム其裏書人ハ其裏書ニ付キ手形上ノ責任ヲ負擔スルコトナシ(四六二)所持人ハ裏書ニ依リテ約束手形ヲ質入シ又ハ其取立ノ委任ヲ爲スコトヲ得然レトモ裏書ハ其目的ヲ



附記セサルトキハ其效力ナク通常ノ裏書トシテ其效力ヲ發スルモノトス  
若シ其目的ヲ記載シタルトキハ其被裏書人ハ同一ノ目的ヲ以テ同一ノ方  
法ニ依リ更ニ之ヲ裏書スルコトヲ得(四六三)裏書アル約束手形ノ所持人ハ  
其裏書カ連續スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス但零式ナルトキハ  
次ノ裏書人ハ其裏書ニ因リテ約束手形ヲ取得シタルモノトシテ以テ裏書  
ノ連續シタルモノトセリ(四六四)  
以上ノ如ク爲替手形ノ裏書ノ規定ヲ約束手形ノ裏書ニ準用スト雖モ其性  
質トシテ約束手形ノ裏書ニ豫備支拂人ノ附記ヲ爲スコトヲ得ス

### 第四節 引受

約束手形ニ付テハ其振出人ハ其振出行爲ニ依リテ直ニ支拂ノ債務ヲ負擔  
スルモノナルニ因リ引受ノ規定ヲ準用スルコトナシ唯振出人カ約束手形  
ノ支拂ヲ爲サ、リシ場合ニ於テ又所持人又ハ償還ヲ爲シタル裏書人ニ對  
シテ支拂アヘキ金額ハ第四百七十一條ノ規定ニ準シテ第四百九十一條又

ハ第四百九十二條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ムルモノトスルニ因リ第四百七  
十一條ヲ準用スルコトアルニミ

## 第三章 非手形行爲

### 第一節 擔保

擔保ハ支拂ハカ引受ヲ爲サス又ハ之ニ原因シテ其請求權ヲ發生スルモノ  
ナルニ因リ前章ニ於テ一言シタルカ如ク約束手形ニハ其性質トシテ引受  
ノ問題ヲ生スルコトナキヲ以テ擔保ノ問題ノ生スルコトナキヤ明カナリ  
然レトモ約束手形ノ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相當ノ擔  
保ヲ供セサルトキハ所持人ハ危險ノ地位ニ立ツモノナルヲ以テ特例トシ  
テ其前者ニ對シ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得セシメサルヘカラス此場合ニ  
於テハ第四百七十四條乃至第四百七十八條ノ規定ヲ更ニ準用スルモノナ  
ルヲ以テ前者ハ更ニ轉シテ其前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル  
モノトス



以上ノ理由ニ因リ供シタル擔保ハ左ノ場合ニ於テハ其效力ヲ失フモノト

- (一) 振出人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ
- (二) 手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ
- (三) 擔保ヲ供シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ
- (四) 手形上ノ權利カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ
- (五) 擔保ヲ供シタル者カ満期日ヨリ一年内ニ償還ノ請求ヲ受ケサリシト

### 第二節 支拂

本節ニ付テハ爲替手形ノ規定全部ヲ準用スルモノトス

### 第三節 參加支拂

約束手形ニ引受ナルモノナキヲ以テ從ヒテ參加引受ナルモノナシ之ヲ以テ爲替手形ノ參加引受ニ關スル規定ノ準用ナキモノナレトモ參加支拂ニ

關スル爲替手形ノ規定ハ全部之ヲ準用スルモノトス

### 第四節 償還

償還ノ請求ニ付テモ爲替手形ノ編ニ於テ既ニ之ヲ脱述シタリ其規定ノ全部ハ之ヲ約束手形ニ準用スルモノトス唯茲ニ一言ノ勞ヲ執ルヘキ要ハ償還義務者是ナリ世ノ論者往々約束手形ニ於ケル償還義務者ヲ區別シテ振出人及ヒ裏書人ノ二トシ以テ振出人ハ償還ノ義務ヲ負擔スル者ナリト論セリ否ナ判例ニ於テ既ニ之ヲ論示セルモノ在リ妄モ亦極マレルモノニ非スヤ余輩ハ曩ニ爲替手形ノ編ニ於テ償還ヲ脱述スルニ當リテ論シタルカ如ク償還ノ義務ハ支拂ノ拒絕ニ基因シテ發生シ振出又ハ裏書ノ對價ヲ返還スルモノナルヲ以テ手形ノ支拂ト償還トハ相容ル、モノニ非ス是ニ因リテ償還ノ義務ヲ負擔スル者ハ支拂者ト爲ルコトヲ得サルモノナリ斯ノ如ク支拂義務者カ償還義務者ト爲ルコトヲ得サルモノトスルニ於テハ約束手形ノ振出人ハ支拂ヲ爲サルヘカテサル義務ヲ負擔スル者ナルニ因

此岸本論大評  
察旨ヲ得ニ  
シタルモノ  
シト別務ト  
支拂州曰  
ト償還義務  
別務ト分



リ償還ノ義務ヲ負擔スル者ニ非スト云ハサルヘカラサルナリ之ヲ以テ約  
束手形ニ於ケル償還ノ義務ヲ負擔スル者ハ獨リ裏書人ニシテ振出人ハ單  
ニ支拂ノ義務ヲ負擔スルモノト斷定セサルヘカラス世ノ論者ノ如ク又多  
クノ實際家ノ如ク約束手形ノ振出人ヲ加ヘテ償還義務者ノ一人トスルハ  
誤ノ大ナルモノニシテ之ニ關スル判例ハ固ヨリ價値ナキモノトス從ヒテ  
振出人ト裏書人ヲ共同被告トシテ訴訟ヲ爲スカ如キハ誤ニ誤ヲ重ヌルモ  
ノト云ハサルヘカラサルナリ

### 第五節 拒絕證書

爲替手形ノ規定ヲ準用スルモノトス然レトモ參加引受ニ關スル部分ハ之  
ヲ適用スルコトヲ得サルモノナリ

### 第六節 謄本

約束手形ニ付テハ謄本ノ制ヲ採用セス法制上ノ理由トシテハ異論ナキニ  
非サレトモ我手形法ニ於テハ約束手形ニ謄本ノ制ヲ設ケテ振出人ヲ煩ハ

毛他ノ理  
山本ノ理  
覆本ノ理  
用本ノ理  
雖本ノ理  
ハ本ノ理  
爲本ノ理  
之本ノ理  
コ本ノ理  
サ本ノ理  
リ本ノ理  
ナ本ノ理  
ニ本ノ理  
ナ本ノ理  
必本ノ理

ス、テ、以、テ、酷、ナ、リ、ト、シ、之、ニ、手、形、上、ノ、効、力、ヲ、生、セ、シ、メ、サ、ル、ナ、リ、然、レ、ト、モ、手、形  
ノ、裏、書、又、ハ、保、証、ハ、之、ヲ、謄、本、ニ、爲、ス、コ、ト、ヲ、得、セ、シ、メ、タ、ル、ヲ、以、テ、約、束、手、形、ニ  
謄、本、ノ、制、ヲ、設、ケ、所、持、人、ニ、約、束、手、形、ノ、謄、本、ヲ、作、ル、コ、ト、ヲ、得、セ、シ、メ、タ、リ、所、持  
人、カ、其、謄、本、ヲ、作、リ、タ、ル、ト、キ、ハ、其、謄、本、ニ、記、載、シ、タ、ル、事、項、ト、其、原、本、ニ、記、載、シ  
タ、ル、事、項、ト、テ、區、別、セ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、サ、ル、ナ、リ、否、ラ、サ、レ、ハ、其、謄、本、タ、ル、効、力、ナ、キ  
モ、ノ、ト、ス



### 第四編 小切手

#### 第一章 小切手ノ性質

此論本邦ノ小切手ノ性質ヲ論シタルモノニ非スシテ其效能ノ一部ヲ例示シタルニ止マルナリ余輩ハ第一編ニ於テ論シタルカ如ク獨リ小切手ノミ支拂ノ要具ト爲ルモノニ非ス爲替手形モ亦支拂ノ用ニ供スルモノナリ蓋シ支拂トハ貨幣ノ受渡ヲ言ヒ支拂ノ要具トハ貨幣受渡ノ代用ヲ爲ス處ノモノヲ言フモノニシテ手形ハ凡テ貨幣受渡ノ代用ヲ爲ス處ノモノナレハナリ然レトモ小切手ノ主タル目的ハ爲替手形及ヒ約束手形ト異ニシテ支拂ヲ爲スニ在リ之ヲ以テ余輩ハ小切手ヲ下ノ如ク定義セントス小切手トハ支拂ノ目的ヲ以テ貨物帳環ノ用ニ供セラルヘキ第三者ノ支拂ニ係ル權利的證券ナリ

世ノ學者從來小切手ノ性質ヲ論シテ小切手ハ支拂ノ要具ナリト云ヘリ然レトモ未ダ以テ小切手ノ性質ヲ説明シタルモノニ非スシテ其效能ノ一部ヲ例示シタルニ止マルナリ余輩ハ第一編ニ於テ論シタルカ如ク獨リ小切手ノミ支拂ノ要具ト爲ルモノニ非ス爲替手形モ亦支拂ノ用ニ供スルモノナリ蓋シ支拂トハ貨幣ノ受渡ヲ言ヒ支拂ノ要具トハ貨幣受渡ノ代用ヲ爲ス處ノモノヲ言フモノニシテ手形ハ凡テ貨幣受渡ノ代用ヲ爲ス處ノモノナレハナリ然レトモ小切手ノ主タル目的ハ爲替手形及ヒ約束手形ト異ニシテ支拂ヲ爲スニ在リ之ヲ以テ余輩ハ小切手ヲ下ノ如ク定義セントス小切手トハ支拂ノ目的ヲ以テ貨物帳環ノ用ニ供セラルヘキ第三者ノ支拂ニ係ル權利的證券ナリ

歐洲曰、能ク斷セ

從來多クノ法制ニ於テハ小切手ヲ手形ニ非サルモノト爲セトモ小切手ハ純然タル手形ニシテ其本性ハ爲替手形ノ一種ナリトス此論或ハ奇異ナル感ヲ惹クコトナキニ非スト雖モ論者各ムルコトナカレ若シ之ヲ答メント欲セハ小切手ヲ爲替手形ノ一種ニ非ストスル處ノ差異ヲ證明セサルヘカラス爲替手形ノ規定ト異ナル規定ヲ設ケ又ハ爲替手形ノ規定中準用セサル處ノ規定アリト雖モ皆之レ小切手ノ簡便迅速ヲ要スル處ノ趣旨ニ基カサルハナク爲替手形ノ一種ナリト論シテ毫モ其不可ナルコトヲ見サルナリ之ヲ以テ小切手ノ性質ハ如何ト問フ者アレハ余輩ハ爲替手形ハ一種ナリト答ヘン

#### 第二章 小切手ノ沿革

小切手ハ手形中最モ遅レテ發達シタルモノニシテ其產地ハ和蘭ノ都市ナリトス第十六世紀ノ中頃和蘭ノアムステルダムニ於テ元本ヲ預カリ其支拂ヲ爲スコトヲ營業トスル處ノ商人在リタリ下テ第十七世紀ノ初メ受託

第四編 小切手 第一章 小切手ノ性質 第二章 小切手ノ沿革



者カ寄託者ノ委頼ニ應シ第三者ニ支拂ヲ爲ス慣習ノ行ハル、ニ至リ其方  
 法ハ寄託者ハ支拂委頼狀ヲ第三者ニ交付シ第三者ハ之ヲ受託者ニ交付シ  
 テ支拂ヲ得ルニ在リ當時其委頼狀ヲ稱シテ「カシアアイブリーフエ」ト云ヘリ  
 想フニ是レ小切手ノ濫觴ナルヘシ  
 然レトモ現時世界ニ於ケル小切手ハ其源ヲ和蘭ニ發シタルニ非スシテ英  
 國ニ發シタルモノナリ英國ニ於テハ第十七世紀ノ初メ寄託者ハ支拂證券  
 ナ發行シ銀行ヲシテ支拂ハシメタル慣習アリテ其證券ノ發行者ハ必ス寄  
 託ノ事實アルコトヲ要スルモノトセリ其證券ハ之ヲ稱シテ「カウシユ、ノー  
 ト」又ハ單ニ「ノート」ト謂ヘリ第十八世紀ノ中頃ニ至リ始メテ「チツクエル」ナ  
 ル名稱ヲ用ヒ更ニ簡チ撰ヒテ單ニ「チツク」ト稱フルコト、爲リ今日ニ於テ  
 ハ世界通有ノ名稱ト爲ルニ至レリ「チツク」ハ我國ノ所謂小切手ニ該當スル  
 モノトス

「チツク」ハ當初私立銀行ヲ以テスルニ非サレハ其支拂人ト爲スコトヲ得サ

ルモノト爲セシモ西曆一千八百二十八年ノ法律ヲ以テ株式銀行ハ公私ヲ  
 論セス其支拂人トナラサルヘカラサルモノト定メラレタリ近來英國人ハ  
 苟クモ資産ヲ有スルモノハ小切手ヲ以テ支拂ヲ爲スニ至リ小切手ハ殆ン  
 ト金錢ノ效能ヲ爲セリ小切手即チ「チツク」ハ英國ニ其源ヲ發シテヨリ今ヤ  
 世界到ル所小切手ノ流通ヲ見サルハナシ

翻テ我國ニ於ケル小切手ノ發達ヲ考査スルニ徳川氏ノ初メ頃振出小切手  
 ナルモノ在リテ殆ント現時ニ於ケル小切手ノ效能ヲ爲セリ當時振出手形  
 ハ兩替屋ト取引アル者カ兩替屋ニ宛テ振出シ又ハ兩替屋カ他ノ兩替屋ニ  
 宛テ振出シタル手形ノ持參者ニ對シ支拂兩替屋カ受託者ナルトキハ之ニ  
 支拂ヲ爲スコト、セリ此振出手形ハ順次讓渡ヲ爲スコトヲ得テ其不支拂  
 ノトキハ順次逆戻シテ其義務ヲ履行スヘキモノトス然レトモ支拂兩替屋  
 ノ支拂無能力ニシテ不支拂トナルトキハ其所持人ノ損失ニ歸スヘキモノ  
 トセリ其後維新ノ當初ニ至リテ各種ノ手形一時ハ殆ント廢滅ニ歸セシナ



以テ此振出手形モ其跡ヲ絶チ滅廢ト爲リ我國現時ノ小切手ハ其源ヲ歐洲

ニ汲ミタルモノニシテ所謂振出手形ノ遺物ニ非サルナリ

小切手ハ多クノ法制ハ勿論我舊法典ニ於テ銀行ヲ支拂人トスルニ非サレハ之ヲ振出スコトヲ得ストセリ然レトモ小切手ノ振出ヲ爲スニ付キ豫メ信用ノ基本即チ資金關係ノ存在スルコトヲ要スルモノトシ若シ資金關係ノ存在セスシテ之ヲ振出ストキハ之ニ一ノ制裁ヲ科スルモノトスルニ於テハ必スシモ支拂人ヲ銀行ニ限ルノ要アラサルナリ之ヲ以テ進歩シタル法制ハ何レモ支拂人ヲ限定スルコトナシ我新法典ハ之ニ倣ヒテ支拂人ノ限定ヲ爲サ、ルコトニ定メタリ之レ又小切手發達上一大著明ナル事實ナリトス

### 第三章 手形行爲

#### 第一節 振出

小切手ハ振出行爲ニ因リテ成立スルモノニシテ振出行爲トハ小切手ヲ組

織スル處ノ法律行爲ヲ云フモノナリ小切手振出行爲ハ爲替手形及ヒ約束手形ノ振出ニ付テ説述シタルカ如ク決シテ小切手交付ノ行爲ヲ包含スルモノニ非ス交付ノ行爲ハ手形法ノ認ムル處ニ非サルヲ以テ手形行爲ニ非サルナリ振出行爲ハ手形法ニ規定シタル處ノ小切手ノ要件ヲ具備スルニ非サレハ小切手ヲシテ成立セシムルコトナシ

小切手ノ要件ヲ分チテ要素及ヒ通素ノ二トス爲替手形及ヒ約束手形ニ在リテハ要素及ヒ通素ノ要件ノ外ニ更ニ偶素ナルモノ、存在セルモ小切手ニ在リテハ決シテ偶素ナルモノ、存在スルコトナシ之レ蓋シ小切手ハ最モ簡便ニ且ツ最モ迅速ニ運轉結了スヘキモノナルヲ以テ可成丈小切手自体ニ生スヘキ煩累ヲ除去スルノ要アレハナリ

#### 第一款 要素

小切手カ成立ノ要素ヲ缺クトキハ其成立スルコトナキモノニシテ其要素ヲ分チテ七個トス



- (一) 小切手タルコトヲ示スヘキ文字  
爲替手形及ヒ約束手形ノ振出ニ付テ既ニ説明シタルカ如ク證券其物カ普通ノ債權證書ニ非サルコトヲ明示スルノ要アルト同時ニ其普通ノ債權證書ニ非サル手形カ如何ナル種類ニ屬スル處ノモノナリヤヲ分別スルノ要アルニ因ルナリ
- (二) 一定ノ金額  
爲替手形ノ振出ノ場合ニ於ケルト異ナルコトナク又小切手ノ主タル部分ニ記載シタル金額ト其他ノ部分ニ記載シタル金額ト相違スルトキハ爲替手形ニ付テ説述シタルカ如ク其主タル部分ヲ記載シタル金額ヲ以テ手形金額ト爲スモノナリ(四四六)
- (三) 支拂人ノ氏名又ハ商號
- (四) 單純ナル支拂ノ委託
- (五) 振出ノ年月日

(六) 振出人ノ署名行爲

以上四个ノ事項ニ付テハ既ニ爲替手形ノ振出ヲ説明スルニ當リテ之ヲ詳細論述シタルニ依リ茲ニ再ヒ之ヲ贅セス

(七) 受取人ノ氏名若シハ商號又ハ所持人ニ支拂フヘキコト

本號ハ爲替手形及ヒ約束手形ニ見サル小切手特有ノ規定ニシテ小切手ノ小切手タル所以ナリ蓋シ爲替手形及ヒ約束手形ニ在リテハ其手形金額ノ三十圓以上ニ達スルニ非サレハ無記名式ヲ以テ之ヲ振出スコトヲ得スト雖モ小切手ニ在リテハ其手形金額ノ大小ヲ問ハス記名式ト無記名式ナルトニ關セス之ヲ發行スルコトヲ得ルモノナレハナリ本號ハ即チ之ニ關スル規定ヲ存設シタルモノニシテ振出人ハ小切手ニ受取人ノ氏名若クハ商號ヲ記載シ記名式トシテ之ヲ振出スコトヲ得ルハ勿論單ニ所持人ニ支拂フヘキコトヲ記載シ無記名式トシテ之ヲ振出スコトヲ得ルナリ之ヲ以テ二者其一ヲ選ヒ之ヲ小切手ニ記載スルニ非サレハ小切手ハ成立スルコト



ラノニ定ニカ此應  
 生錢關小レ著日  
 間スニ切手者、  
 カ問ル手者、  
 タル伴手者、  
 シノケ規別形スサノシ之  
 ナタル定ノ法ルルニタチ  
 ハモ設利特手要非モテ主  
 ヘハモ設利特手要非モテ主

トナキモノトス若シ夫レ二者共ニ小切手ニ記載スルトキハ其小切手ノ効  
 力如何ト云フニ從來ノ學者ハ斯ノ如キ場合ニ於テハ之ヲ無記名式ノ小切  
 手即チ所持人拂ノモノト爲セトモ何故ニ後ノ記載カ小切手ノ要件トシテ  
 效力ヲ生シ前ノ記載カ其效力ヲ生セサルカハ未タ説明セサル所ナリ順序  
 ニ付テ之ヲ論スルトキハ前ノ記載カ抹消其他ノ方法ニ由リテ其效力ヲ消  
 失セサル間ハ後ノ記載カ兩立シテ效力ヲ生スモルノニ非スト云ハサルヘ  
 カラサルヲ以テ寧ロ論者ノ説ニ反對スヘキニ似タリ茲ニ於テ總則ノ規定  
 ヲ参照スルニ第四百三十九條ニ本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載ス  
 ルモ手形上ノ效力ヲ生セスト規定セリ而シテ此場合ニ於テハ二者共ニ手  
 形法ニ規定セル事項ナリト雖モ互ニ相容レサル二個ノ事項ヲ小切手ニ記  
 載スルトキハ總則ニ何等ノ規定ナキモ要件カ互ニ自殺スルモノナルヲ以  
 テ記載ノ效力ナキモノト云ハサルヘカラス從ヒテ小切手ハ其要件ノ欠缺  
 ニ因リテ成立スルコトナシト論斷セサルヘカラサルナリ然ルニ實際ニ於

テハ二者共ニ之ヲ併記シテ慣用シ何人モ怪ム者ナシ是レ茲ニ叙述シテ以  
 テ大方ノ教ヲ待タントスル所以ナリ  
 小切手ノ振出人ハ自己ヲ以テ其受取人ト爲スコトヲ得之レ亦爲替手形ノ  
 編ニ於テ叙述シタル所ナルヲ以テ再ヒ茲ニ之ヲ言ハスト雖モ小切手ハ振  
 出人ハ爲替手形ノ振出人ノ如ク自己ヲ以テ支拂人ト爲スコトヲ得サルモ  
 ノトス之レ立法上小切手ノ性質ノ然ルヘキモノニ非スシテ小切手運用ノ  
 便利ヲ重シタル規定ニ外ナラス然レトモ小切手ノ振出人カ自己ヲ支拂人  
 ト爲スコトヲ得サルモノトスルヲ以テ果シテ小切手運用ノ便利ヲ得ルヤ  
 否ヤハ法制上ノ議論ニ非スシテ事實上ノ問題ナリトス

第二款 通素

小切手ニ通素ヲ缺クトキハ手形法ノ規定ニ依リテ之ヲ補充スルニ因リ其  
 成立ヲ妨クルコトナシト雖モ通常之ヲ具備スヘキモノナリトス小切手ノ  
 通素ハ爲替手形及ヒ約束手形ト異ニシテ二个アルコトナク僅カニ支拂地



ノ記載ノミナリトス

小切手ノ支拂地ハ之ヲ小切手ニ記載スヘキモノナレトモ偶々之ヲ記載セサルコトアルトキハ其小切手ニ記載シタル支拂人ノ住所地ヲ以テ支拂地トシ之ニ由リテ其小切手ヲ無効トスルコトナキモノナリ(四五二)

以上二款ニ於テ小切手ノ要件ヲ説了セリ爲替手形約束手形ニ於テハ滿期日ノ記載ヲ以テ其要件ノ一ト爲シタレトモ小切手ニ於テハ之ヲ其要件ノ一ニ列スルコトナシ蓋シ前二者ハ滿期日ヲ定ムルニ付キ四種ハ方法アリタリト雖モ小切手ニ在リテハ滿期日ハ一覽拂ノモノトスルニ非サレハ之ヲ振出スコトヲ得サレハナリ若シ之ヲ一覽拂以外ノモノトシテ振出ストキハ小切手タル効力ヲ有セサルモノトス之レ小切手ノ要件ヲ缺クカ爲メ無効ノモノト成ルニ非スシテ其成立ヲ妨クルカ爲メニ無効ノモノトナルナリ然ラハ法律ハ何カ故ニ小切手ハ之ヲ一覽拂ノモノトセサルヘカラサルカト云フニ小切手ハ其運用ノ敏捷活達ヲ要スルニ基ケリト答ヘサルヘ

カラサルナリ

### 第三款 小切手ノ並行線

小切手ハ爲替手形及ヒ約束手形ト異ニシテ振出ノ形式ニ一種特利ノ方法アリテ存ス即チ小切手ノ振出人ハ小切手ノ表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線内ニ銀行又ハ之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載スルコト是ナリ斯ノ如キ方法ニ依リテ小切手ヲ振出シタルトキハ支拂人ハ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得ルモノトス振出人カ其平行線内ニ特定スル銀行ノ商號ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ其銀行ニ對シテノミ然レトモ其銀行カ其商號ヲ抹消シテ他ノ銀行ノ商號ヲ記載シ之ニ其取立ノ委任ヲ爲ストキハ其委任ハ有效ノモノトス

手形法カ小切手ニ付キ斯ノ如キ形式ヲ定メタル實益ハ小切手カ紛失又ハ盜難等ニ因リテ占有ヲ脱シタル原所持人ノ權利ヲ保護スルニ在ルモノナリ蓋シ拾得又ハ奪領等ニ因リテ小切手ヲ所持スト雖モ所持者ノ銀行ニ非



此保、  
果シテ、  
持人ノ、  
利ヲ保、  
ラサル、  
カ

サルヨリハ手形金額ノ支拂ヲ受クルコトヲ得サレハナリ然リ而シテ此保  
障ハ必スシモ所持人ノ權利ヲ保護スルニ足ラサルカ如何トナレハ第  
五百三十五條ハ其第一項第二項ニ於テ支拂人ハ云々支拂ヲ爲スコトヲ得  
ト規定シタルニ依リテ支拂人ハ銀行ニハミ支拂フト否トハ支拂人ノ任意  
ニシテ假令銀行以外ハモハニ支拂ヒタレハトテ支拂人ニ何等ノ責任ハ歸  
スルモノニ非サレハナリ然レトモ小切手ノ記名式ナルトキハ民法ノ規定  
ニ從ヒテ支拂人ハ調査權ヲ有シ重過失又ハ惡意ノ存スルトキハ其實ニ任  
スルモノナルヲ以テ手形法上ノ責任ヲ免カルトスルモ民法上ノ責任ヲ  
免カルコト能ハサル可シ若シ其無記名式ナルトキハ債權ノ準占有ニ關  
スル規定ヲ適用スヘキヤ否ヤニ付キ議論ノ餘地ヲ存ス  
小切手ノ平行線ニ關スル以上ノ規定ハ所持人ニ付テモ亦存在スルモノニ  
シテ振出人ニ付テ説述シタル處ハ所持人ニ付テモ之ト異ナルコトナキモ  
ノトス

### 第二節 制裁

小切手ハ記名式ナルト無記名式ナルトヲ問ハス隨意ニ且ツ容易ニ振出し  
得ラル、モノニシテ其容易ナル丈ケ又弊害ノ生シ易キモノナルヲ以テ之  
カ振出ニ付キ慎重ノ警戒ヲ與ヘサルヘカラサルナリ之ヲ以テ小切手ノ振  
出人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル、モノトス  
(一) 資金ナク又ハ信用ナクシテ小切手ヲ振出シタルトキ  
(二) 小切手ニ虛偽ノ日附ヲ記載シタルトキ

爲替手形ニ在リテハ資金關係ノ問題ノ生スル要ナシ之ヲ以テ振出人カ爲  
替手形ヲ振出スニ當リテ支拂人ニ資金ヲ供セス又ハ支拂人ノ信用ナキニ  
モ拘ラス之ヲ振出スコトヲ得テ而カモ有效ナリトス是レ爲替手形ハ小切  
手ニ比シテ振出亂發ノ繁カラス且ツ振出人カ慎重ノ注意ヲ取ルヘキヲ以  
テ一般ノ狀態ナリトスルニ在レトモ小切手ハ兎角振出ノ容易ナルニ從ヒ  
テ其亂發ノ弊多キヲ以テ必ス先ツ資金ヲ供スルカ否ラサレハ少ナクトモ



毛日白、  
 虚偽ノ日、  
 附手ノ日、  
 切手ノ日、  
 疑手ノ日、  
 切手ノ日、  
 形手ノ日、  
 善且シハ、  
 大ナリト、  
 失ナリト、  
 三ナリト、  
 シテハ、  
 效ナリト、  
 スト有ト

支拂人ノ信用ヲ得ルニ非サレハ其之ヲ振出スコトヲ得ス然レトモ其資金  
 關係ヲ以テ未タ手形關係ナリトスルモノニ非サレハ其資金關係ノ存在セ  
 サルニ之ヲ振出シタレハトテ其振出ノ無効ナリトスルコトヲ得ス唯過料  
 ノ制裁ヲ附シテ其輕舉ヲ警戒スルニ止マルノミナリトス  
 小切手ニ虚偽ノ日附ヲ爲ストキハ元來其實質的要件ヲ欠缺スルモノニシ  
 テ法理一偏ニ於テハ之ヲ無効ノモノナリトセサルヘカラス然リ而シテ其  
 小切手ノ無効ナルト否トニ關ハラヌ虚偽ノ日附ヲ爲シタル小切手ヲ振出  
 スコトヲ看過スルトキハ公秩ヲ妨ク併セテ公益ヲ害スルニ至ルヘキヲ以  
 テ之ニ過料ノ制裁ヲ附シ之ヲ警戒スヘキモノトス刑法ニ於テハ手形ノ偽  
 造及ヒ詐欺ノ裏書ニ付テ處罰ヲ施スコト、セリ虚偽ノ日附ハ手形ノ偽造  
 ニ非サルハ勿論ナレトモ時トシテハ詐欺ノ裏書ヲ構成スルコトナキカノ  
 疑ヲ生スルモノナリ余輩ノ考慮スル處ニ依ルトキハ害ノ生スルト否トテ  
 問ハス裏書ノ日附ヲ詐ルトキハ詐欺ノ裏書ヲ爲スモノニシテ刑法ノ犯罪

ヲ構成スルモノトス此場合ニ於テハ刑法ノ處罰ヲ併セテ手形法ノ制裁ヲ  
 受ケサルヘカラス

第三節 裏書

小切手モ亦手形ノ一種ナルヲ以テ流通力ヲ有スルモノトス流通力ヲ有ス  
 ルモノナルカ故ニ之ヲ裏書スルコトヲ得然レトモ振出人カ裏書禁止ノ配  
 載ヲナシタルトキハ其記載行爲カ手形上ノ效力ヲ生シ其小切手ハ流通力  
 ヲ生セス從ヒテ裏書ヲ爲スコトヲ得サルナリ(四五五)裏書ノ方式ハ小切手  
 又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人之  
 ニ署名行爲ヲ爲スニ因リテ成ルモノトス然レトモ裏書人ノ署名行爲ノミ  
 ヲ以テ略式裏書ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後小切手ハ引渡ノミニ  
 依リテ之ヲ流通スルコトヲ得(四五七)裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當リテ手形上  
 ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載シテ無責任裏書ヲ爲ストキハ亦手形上ノ效力  
 ヲ生シ被裏書人ニ對シテモ手形上ノ義務ヲ負ハサルモノトス(四五九)又裏



書人ハ禁止裏書ヲ爲スコトヲ得禁止裏書ヲ爲シタルトキハ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ手形上ノ義務ヲ負擔スルコトナシ(四六〇)零式裏書ニ依テ小切手ヲ取得シタル者ハ自己ヲ以テ其被裏書人ト爲スコトヲ得(四六一)支拂拒絕證書作成ノ期間經過ノ後所持人カ裏書ヲ爲シタルトキハ被裏書人ハ裏書人ノ有シタル權利ヲノミ取得ス此場合ニ於テハ其裏書人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナキモノナリ(四六二)裏書アル小切手ノ所持人ハ其裏書カ連續スルニ非サレハ手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得サルモノトス然レトモ署名行爲ノミヲ以テ爲シタル零式裏書ノ存スルモノナルトキハ次ノ裏書人ハ其裏書ニ依リテ小切手ヲ取得シタルモノト見做シ裏書ノ連續アルモノトス(四六四)

### 第四章 非手形行爲

#### 第一節 支拂

既ニ説述シタルカ如ク小切手ハ一覽拂ノモノニ限ルト雖モ爲替手形及ヒ

約束手形ノ如ク其日附ヨリ一年內ニ小切手ヲ呈示シテ支拂ヲ求ムルカ如ク悠々閑々トシテ濟ムヘキモノニ非ス迅速活達ヲ要スルハ其本性ナルヲ以テ小切手ニ付テハ其呈示期間ヲ法定シ其日附ヨリ之ヲ一週間トセリ之ヲ以テ小切手ノ所持人ハ其日附ヨリ一週間內ニ小切手ヲ呈示シテ其支拂ヲ求メサルヘカラス而シテ此期間ハ振出人ノ行爲ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得サル性質ノモノトス若シ所持人カ右ニ説述シタル法定期間內ニ小切手ノ呈示ヲ爲サ、リシトキハ其前者ニ對スル處ノ償還請求權ヲ有セサルニ至ルモノトス

小切手ノ法定呈示期間ニ付キ或ル論者ハ説明シテ曰ハク小切手ノ所持人ハ法定呈示期間ヲ徒過スルトキハ其前者ニ對スル償還請求權ヲ失フト雖モ爾後五年間支拂ノ請求權ハ之ヲ喪失セサルモノトス之レ第五百三十三條第二項ニ云々其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得スト規定シテ一言ノ以テ支拂請求ニ及ハサルニ因リ之ヲ知ルヘキナリト此論者ノ説ニ



毛月日、  
該規定ハ  
キテハ  
果シテハ  
後ニ價還  
ノ請求權  
コトアル  
コトヲ疑  
ハズヤリ  
ヤコトナ  
成リナリ

依ルトキハ小切手ノ支拂人ハ小切手ノ振出ニ依リテ當然支拂ノ義務ヲ負  
擔ストノ論結ヲ生シテ誠ニ法理ヲ無視シタル議論ナリト云ハサルヘカラ  
ス所持人カ此場合ニ於テ價還ノ請求權ヲ喪失スト論スルハ既ニ大ナル誤  
ナリ抑モ小切手ノ振出ハ振出人ノ一方的行為ナリ此行為ニ依リテ第三者  
ナル支拂人カ債務ヲ負擔スト云フハ手形法理ヲ辨セサルハ勿論一般債權  
發生ノ原因ヲモ知ラサルモノト云ハサルヘカラス第五百三十三條第二項  
ニ價還ノ請求ヲ爲スコトヲ得スト規定シテ一言ノ支拂請求ニ及ハサル所  
以ノモノハ當然ノコトナリ該規定ナキトキハ事後ニ於テ價還ノ請求權ヲ  
發生スルコトアルヘキヲ以テ斯クハ規定シタルニ在ルナリ然ルニ斯ノ如  
キ見易キ法理ヲ看過シテ支拂人ニ支拂ノ債務アリト認メタル判決アリト  
聞キ及ヘリ  
支拂人ハ小切手引換ニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ要セス其引換ニ支拂ヲ  
爲スト否トハ支拂人ノ自由ニ在リト雖モ引換ニ非スシテ支拂ヲ爲ストキ

岸本評論  
予ハ論者  
左ノ諸君  
ニモ

ハ爾後惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ小切手ヲ取得シタル者ニ對シテハ  
仍小切手ニ關スル問題ヲ餘セリ支拂人ハ支拂ヲ爲スニ當リ所持人ヲシテ  
小切手ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且ツ之ニ署名行為ヲ爲サシム  
ルコトヲ得(四八三)小切手ノ所持人ハ手形金額ノ一部分ノ支拂ヲ拒ムコト  
ヲ得ス支拂人カ一部ノ支拂ヲ爲シタルトキハ所持人ハ其旨ヲ小切手ニ記  
載シ且記載ノ謄本ヲ作り署名行為ヲ爲シテ之ヲ支拂人ニ交付スヘキモノ  
トス(四八四)  
小切手ニ付キ其爲替手形ノ規定ヲ準用シタル部分ハ既ニ爲替手形ノ編ニ  
於テ説明シタルヲ以テ此ニ之ヲ費セス引受ハ小切手ニ付キ存在セサルモ  
ノナルヲ以テ小切手ノ引受ヲ爲スモ手形法上ノ效力ヲ生セス茲ニ於テ近  
來實業社會ハ引受ニ代ヘテ小切手ノ支拂ノ保證ヲ爲シ此種ノ小切手ヲ稱  
シテ支拂保證小切手又ハ單ニ保證小切手ト言ヒ以テ其保證行為ヲ手形法  
上有效ノモノナリトセリ便ハ固ヨリ便ナリト雖モ未タ俄カニ首肯スル能



ハサルナリ余輩ノ先輩ナル友人法學士玉木爲三郎君ハ明治法學第四號ニ其所論ヲ登載シ以テ手形法上保證小切手ノ有效ナルコトヲ説述セリ然レトモ手形法總則第四百三十九條ニ於テ本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ效力ヲ生セスト規定セリ茲ニ於テ小切手ノ規定ヲ一閱スルニ支拂保證ナルモノニ關スル規定ノ存在スルコトヲキテ以テ保證小切手ナルモノハ手形法ノ認ムルモノニ非スシテ其行爲ハ手形法上ノ效力ヲ生セサルモノト斷論スヘキカ如シ其行爲ハ時トシテハ民法上ノ效力ヲ生スルコトアルヘシ然レトモ手形法上ノ問題ニ非サルナリ余輩ハ此解釋ニ因リ明治法學第六號ヲ假リテ玉木君ノ教ヲ乞ヒタレトモ本書ヲ艸スルマテニハ未タ其教ニ接セス之レ余輩ノ頗ル遺憾ニ耐ヘサル處ナリ又小切手ニハ參加引受ヲ認メス又複本及ヒ謄本ノ制ヲ採用セサルナリ皆之レ小切手ノ使用ヲシテ速ニ終了セシムル爲メニ非サルハナキナリ

第二節 償還

支拂人カ小切手ノ支拂ヲ爲サ、リシトキハ之ニ因リテ償還ノ請求權ヲ生スルモノトス之ヲ以テ所持人ハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得(四八六)償還ノ請求ヲ爲スニハ所持人ハ呈示ヲ爲シタル日又ハ其後二日內ニ支拂絶拒證書ヲ作ラシメ且ツ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シテ拒絶證書作成ノ翌日マテニ償還ノ請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス然レトモ爲替手形及ヒ約束手形ト異ニシテ拒絶證書ノ作成カ償還請求ノ必要條件ニ非ス所持人ハ支拂人ヲシテ呈示期間內ニ支拂拒絶ノ旨及ヒ其年月日ヲ小切手ニ記載セシメ且ツ之ニ署名行爲ヲ爲サシムルトキハ之ヲ以テ支拂拒絶證書ノ作成ニ代ルコトヲ得ルモノトス此場合ニ於テモ其翌日マテニ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス何レノ場合ナルトヲ問ハス是等ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ其前者ニ對スル償還請求權ヲ喪失スルモノトス(四八七)

裏書人カ其後者ヨリ償還請求ノ通知ヲ受ケタルトキハ其前者ニ對シテ償



還ノ請求ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ裏書人ハ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ自己カ通知ヲ受ケタル翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス(四八八)所持人又ハ裏書人カ以上ノ通知ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受クル者ノ後者全員ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト見做スモノナリ(四九六)

小切手ノ所持人ハ支拂拒絕證書ヲ作成セシメス又支拂人ヲシテ支拂拒絕證書ヲ作成セシメス又支拂人ヲシテ支拂拒絕ノ旨及ヒ其年月日ヲ小切手ニ記載セシメ且ツ之ニ署名行爲ヲ爲サシムル手續ヲモ爲サ、ル場合ト雖モ其作成ヲ免除シタル者ニ對シテハ償還ノ請求權ヲ失フコトナシ又所持人ハ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除セラレタリト雖モ之ヲ作成シタルトキハ其免除シタル者ニ對シテ其費用ノ請求ヲ爲スコトヲ得(四八九)

- (一) 支拂アラサリシ手形金額及ヒ呈示以後ノ法定利息

(二) 拒絕證書作成ノ手数料其他ノ費用

右ノ金額ヲ定ムルニハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル小切手ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ振出シタル小切手ノ相場ニ依リテ之ヲ計算スルモノトス(四九一)償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- (一) 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
- (二) 其支出シタル費用

此算定標準ハ所持人ノ場合ニ從フモノトス(四九二)

償還ハ通常小切手支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコト要セサルナリ償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ノ記載ヲ爲サシメ且ツ之ニ署名行爲ヲ爲サシムルコトヲ



得ルモノトス(四九五)

### 第三節 拒絶證書

拒絶證書ハ小切手ノ所持人ノ請求ニ因リ公證人又ハ執達吏カ之ヲ作成スルモノトス(五一四)拒絶證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ作成者カ之ニ署名行爲ヲ爲サ、ルヘカラス

- (一) 小切手及ヒ補箋ニ記載シタル事項
- (二) 拒絶者及ヒ被拒絶者ノ氏名又ハ商號
- (三) 拒絶者ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲シタルコト及ヒ拒絶者カ其請求ニ應セサリシコト又ハ拒絶者ニ面會スルコト能ハサリシ理由
- (四) 支拂ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサリシ地及ヒ年月日
- (五) 拒絶者ノ營業所住所又ハ居所カ知レサル場合ニ於テハ其地ノ官署又ハ公署ニ問合セテ爲シタルコト
- (六) 法定ノ場所外ニ於テ拒絶證書ヲ作ルトキハ拒絶者カ之ヲ承諾シタル

コト

拒絶證書ノ作成者カ之ヲ作成シタルトキハ其帳簿ニ其證書ノ全文ヲ記載スルコトヲ要ス之レ拒絶證書ノ滅失シタル場合ニ利害關係人ヨリ其謄本ノ交付ヲ請求セラル、トキノ爲メニ準備スルモノトス此場合ニ於テ交付シタル其謄本ハ原本ト同一ノ效力ヲ生ス(五一七)

## 日本手形法論 畢



576 22

明治三十四年一月卅一日印刷  
明治三十四年二月 四 日發行



兼發行所  
著者

印刷者

發行所

印刷所

賣捌所

賣捌所

日本手形法論與付

定價壹圓貳拾錢

東京市京橋區西紺屋町九番地

松本重敏

同市本所區長崎町十二番地士族

竹村賴堅

司法省指定私立明治法律學校出版部

講法會

東京市神田區駿河臺

東京市神田區美土代町二丁目一番地

三光堂活版所

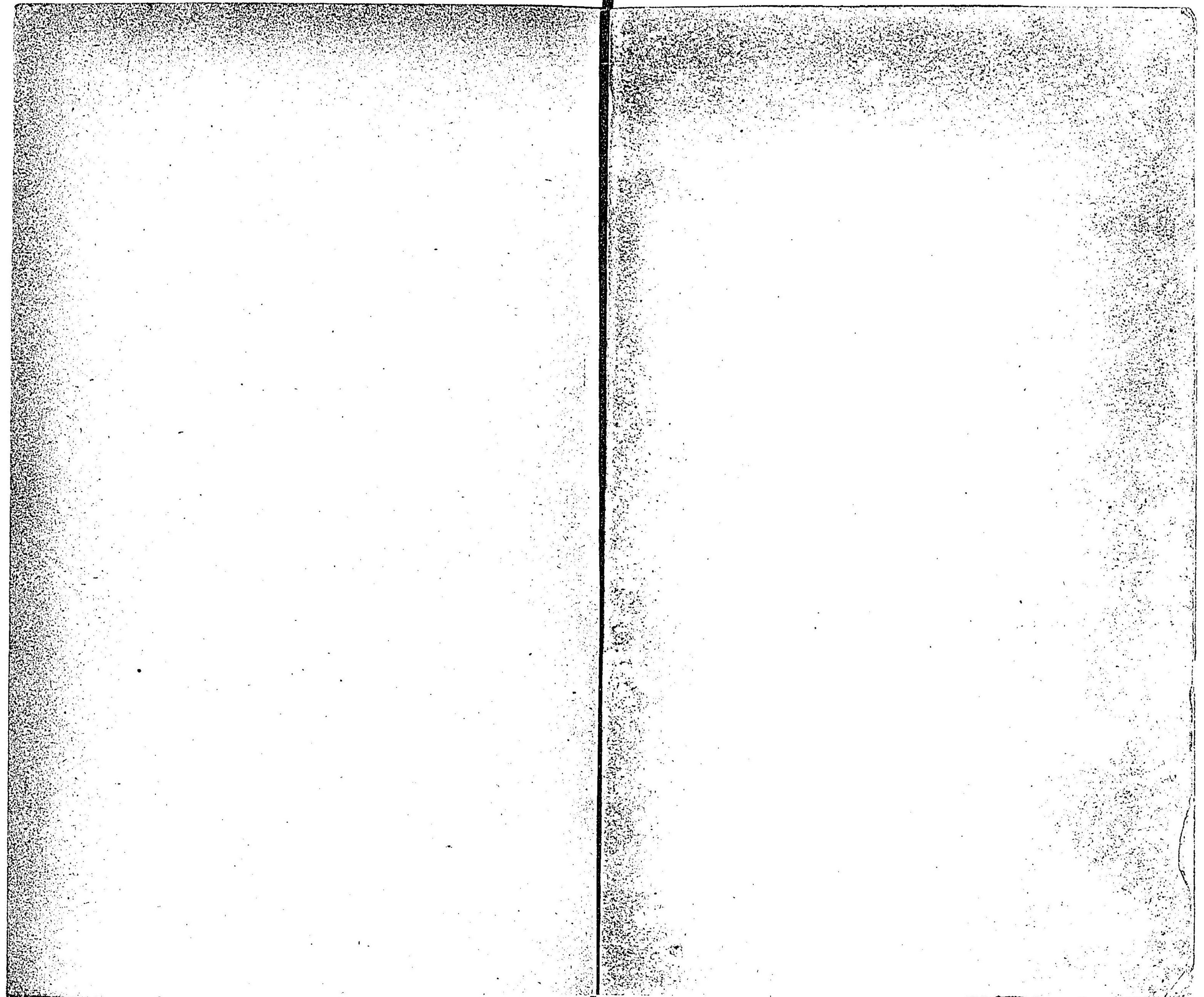
東京市神田區一ツ橋通町

有斐閣書店

同市同區表神保町七番地

柳原書店

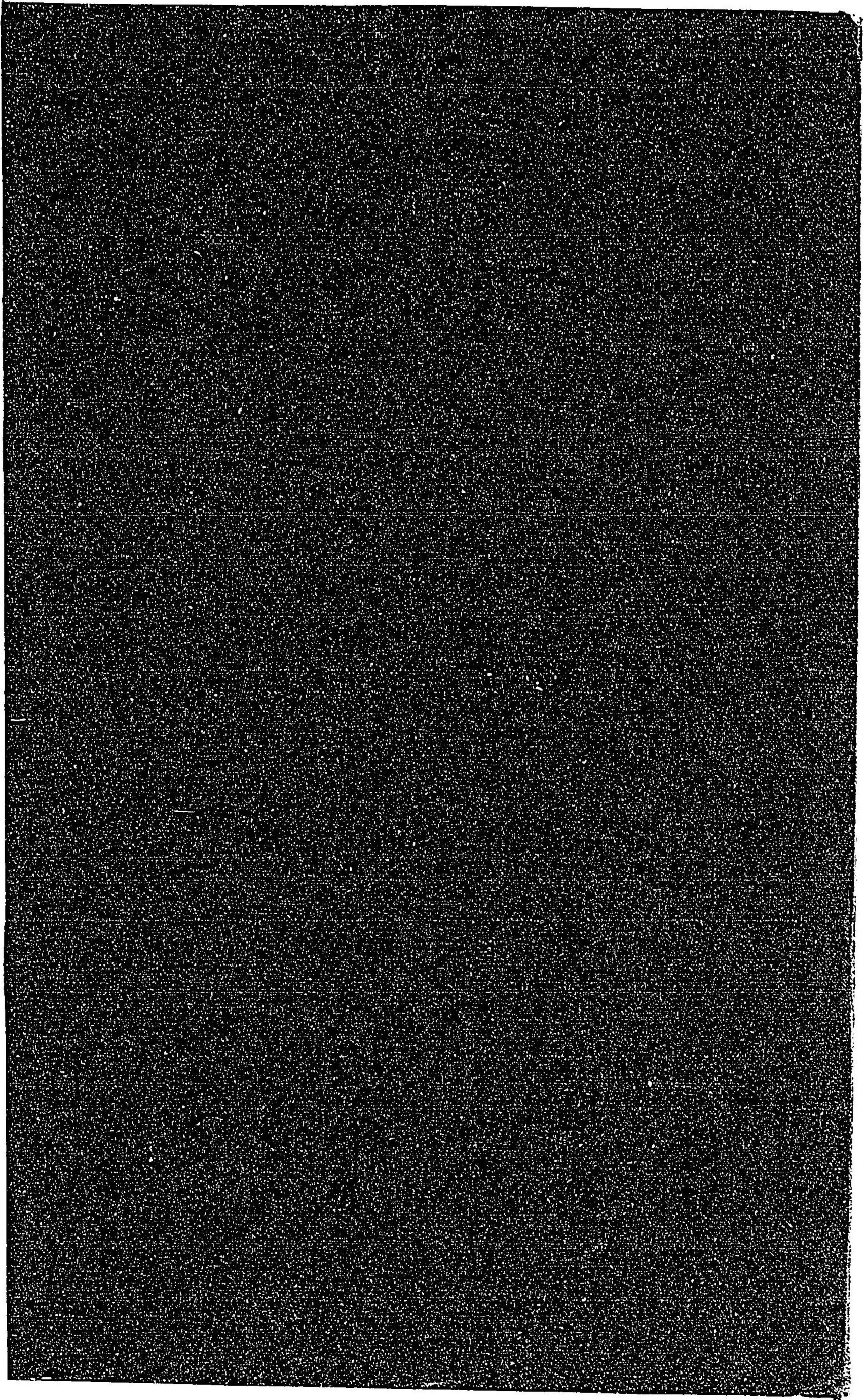






90
49







90  
49

035391-000-3

90-49

日本手形法論

松本 重敏/著

M34

BBO-0576





